

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~2日	7月 ~9日	7月 ~16日
カンピロバクター	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	17	11 (1)	6
病原性大腸菌	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	30	19 (1)	9
腸管出血性大腸菌	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0	0
サルモネラ	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	7	1	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	3	0	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	4	0 (2)	3
腸炎ビブリオ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	1	1	1*
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0
ノロウイルス	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

\* その他の1件は、アエロモナスでした。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第28週(7月10日~7月16日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8			2		5	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	7	日本紅斑熱	1						1	
		レジオネラ症	6	2			1	2		1
五類	14	後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		百日咳	1					1		
		梅毒	11	2				8		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

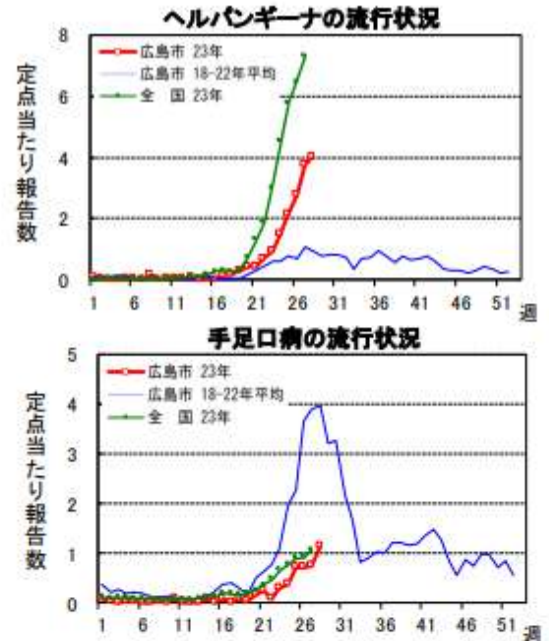
定点当たり7.75人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。これから夏休みの帰省などで、高齢者と会う機会や人が集まる機会が増えてきます。基本的な感染予防対策を徹底し、発熱やのどの違和感など、いつもと体調が異なるときは、人と会うことを控えましょう。

2 ヘルパンギーナ

定点当たり4.04人の報告があり、多い状況が続いています。県内では、西部東保健所管内で定点当たり9.17人(第27週)と警報開始基準値(定点当たり6)を上回ったため、広島県は7月13日、県内に「ヘルパンギーナ警報」を発令しました。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

3 手足口病

定点当たり1.13人の報告があり、増加が続いています。手足口病は、接触感染や飛沫感染などで感染し、乳幼児を中心に夏季に流行します。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減							
														急増減	増減	微増減					
インフル	インフルエンザ	40	1.11	-	-	→	小児科	ヘルパンギーナ	97	4.04	0.93	-	→	急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減				
	新型コロナ(COVID-19)	279	7.75	-	-	→		流行性耳下腺炎	-	-	0.10	-	-	→	増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減			
小児科	RSウイルス感染症	44	1.83	3.13	-	↔	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	11	0.46	0.50	-	↔		流行性角結膜炎	3	0.38	0.40	-	-	-	-	-	-	-	横ばい	↔	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	2.96	1.17	-	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎	111	4.63	3.75	-	→		無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	水痘	2	0.08	0.15	-	↔		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-		
	手足口病	27	1.13	3.99	-	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.08	-	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	突発性発しん	6	0.25	0.36	-	↔															

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	67	20歳代・市外・推定感染地域: 国外・1人、50歳代・1人、70歳代・1人、80歳代・2人
4	レジオネラ症	2	18	50歳代、60歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	6	30歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	60歳代
5	梅毒	8	152	20歳代・2人、30歳代・2人、40歳代・1人、50歳代・3人
5	百日咳	1	2	10歳未満